



「E6150TC」は2024年4月5日(金)航空法に基づく安全基準及び均一性基準に適合した第二種型式認証の物流用途機体として正式に認められました。これにより、当該機体を使用する運用事業者等は、機体ごとに機体認証を取得し、無人航空機操縦士技能証明を有する操縦者によって飛行させる場合、以下の特定飛行については、所定の立ち入り管理措置を講じることで、国土交通省への許可・承認を申請することなく飛行が可能となります。

最大離陸重量24.0kg。最大搭載重量は6.0kg。
宅配荷物、郵送物、食料品、日用品、雑貨、医療品など
さまざまな荷物の搭載が可能です。

第二種機体認証書を取得し、かつ二等以上の操縦者技能証明を保有している場合は、
通常は許可・承認申請が必要な下記の特定飛行が申請不要で飛行することが可能です。

「Rescue-K」は、能登半島大震災の救助活動に参加したイームズが開発した、自治体や実働機関が災害対策で活用できる機能を搭載した無人航空機です。
E6150TCのカスタマイズ機体として活用いただけます。

有事はもちろん、平時においても鳥獣害対策や防災訓練などに使用することができます。



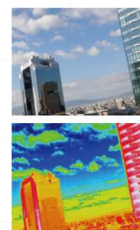
防災無線アナウンスシステム
避難誘導、避難指示の活用。
警報やサイレンを鳴らして警戒に役立てることも。
要救助者とのコンタクトにもご利用いただけます。



物資投下システム
災害支援物資を上空から投下する専用ユニットを装備。
要救助者へ向けて、必要物資を届けることが可能。
衛星電話などを搭載します。



IRカメラ+可視光
遠赤外線画像撮影により、
生物や火災などの熱エネルギーの可視化を実現。
可視センサと遠赤センサ映像を組み合わせ
て表示させることができる。
災害被災者・山や海の遭難者を探索する機能。



guardian
災害時などの初動、もしくは危険なリスクが想定される場所における情報収集が可能。リアルタイムな映像を基に、モニター上で対象物をクリックすることで、対象物の位置を推定し、地図上に表示する仕組み。